

時期 開催地区	2017 (H29) ※2日開催 延岡・西臼杵	2018 (H30) ※1日開催 児湯・西都	2019 (H31) ※2日開催 (南部九州総体) 宮崎・東諸県	2020 (H32) ※九州大会 宮崎・東諸県 (東京オリンピック)
新学習 指導要領移行 スケジュール	小(特)・・・周知 解説 中(特)・・・周知 解説 高(特)・・・改訂(案)	先行実施 先行実施 周知 解説?	先行実施 先行実施 先行実施	全面実施 ⇒ 次年度全面実施
宮崎県のつながりのある 研究領域	「体づくり運動」			
実施学年 H31～は(案)	小4 (中学年) 多様な動きをつくる 中1 (1学年及び2学年) 計画に取り組む 高1 (入学年次) 実生活に生かす運動の計画	小5・6 (高学年) 体力を高める 中2 (1学年及び2学年) 計画に取り組む 高2 (その次の年次以降) 違いに応じて運動の計画	小1・2 (低学年) 多様な動きをつくる運動遊び 中3 (3学年) 実生活に生かす運動の計画 高3 (その次の年次以降) 違いに応じて運動の計画	※今後検討 (案) 中(1・2年生) 高(1年生) がいいのでは
研究主題	『生涯にわたり仲間とともに主体的に運動やスポーツに親しむ資質や能力を育む体育・保健体育学習』 ～ 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開～			
研究内容 ※単元構造図の中に 新たな評価の観点の枠 だけ組み込んでおき、国 立研究所から評価規準 等がでたら挿入してい く。	① 単元構造図の作成 (形式を統一した) ② 課題設定の工夫 (指導案内に主体的学びを促す手 立てを記載。学習資料やカード の工夫をした。)	① 「体づくり運動」の単元構造図 の作成 (保健・体育理論を含む) ② 楽しさを味わわせるような学習資料 (実践事例集) の工夫 ③ 主体的・対話的で深い学びの中でも特に 対話的な学びを実現する学習カード の活用 (単位時間)	① 「体づくり運動」の単元構造図 の作成 () ※評価を新しいものに替えていく ② () な学習資料 (実践事例集) の工夫 ③ () 学習カード の活用	より深い研究へ発展させる ※新学習指導要領に対応した 資料に変更していく
全体会における 授業発表 I	★授業発表 I 「体づくり運動」 (つながりのある研究)		★授業発表 I 「体づくり運動」 (つながりのある研究)	※宮崎大会では、つながり のある研究 (小中高特) の 「体づくり運動」を全体の 場で授業発表する。
部会における 授業発表	授業発表 II 「地区で決めた授業」	★授業発表 I 「体づくり運動」 (つながりのある研究)	授業発表 II 「地区で決めた授業」	※各校種、一コマのみ実施
	授業発表 III 「保健」若しくは「体育理論」		授業発表 III 「保健」若しくは「体育理論」	

○小中高特のつながりある研究の授業発表は、県大会発表の3年前までに県学校体育研究会で地域の実態等を考慮し、領域をある程度指定して地区での研究を進められるようにする。
○全体会のある2日開催時の部会では、2コマの授業発表のうち、1コマを「保健」若しくは「体育理論」を取り扱う。